

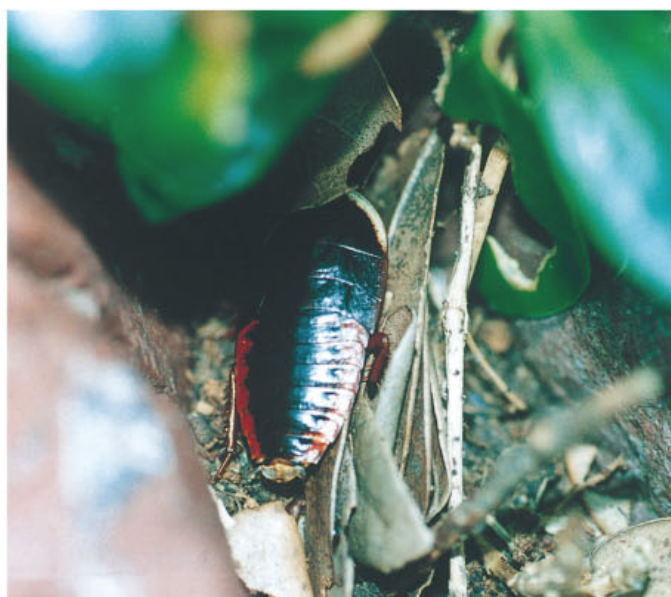
鶴見半島及び大島地域の昆虫



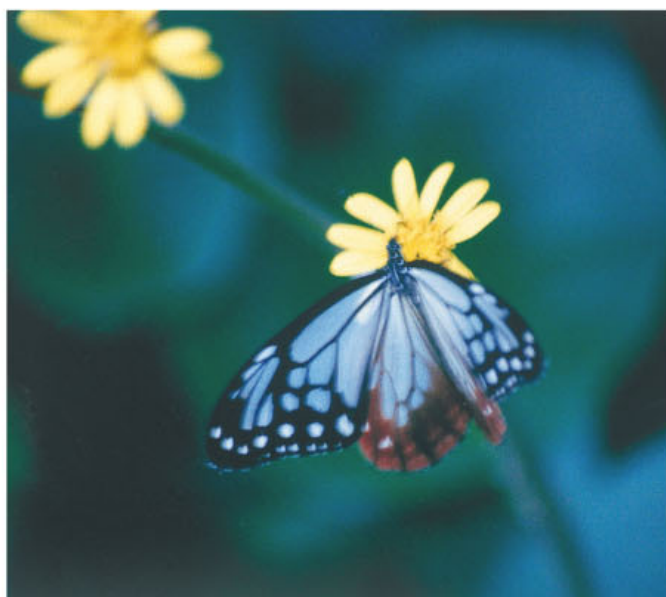
鶴御崎より大島を望む

鶴見半島及び大島地域は、地形や地質から山地の保水力が弱く、乾燥気味です。しかし、亜熱帯の照葉樹が茂り、昆虫についても南方系の種が目立ちます。ヤクシマルリシジミとアヤムネスジタマムシはウバメガシ、ルリオトシブミはイタドリというように、それぞれ植物を寄主として生活していますが、植物と関係な

しに土着し、少しずつ生息地を広げているのがサツマゴキブリです。どうも魚港が最初の侵入地と思われます。目立った天敵もなく、食欲さから、同じ生活圏を持つゴミムシやハネカクシなどの在来種への影響や、生態系への影響に注意する必要があると思われます。



サツマゴキブリの成虫



ツワブキに吸蜜するアサギマダラ



ネズミモチに休むヤクシマルリシジミ



ツワブキのうてな上のクロヒカゲ



カラスザンショウを食べるモンキアゲハの幼虫



カラムシとフクラスズメの幼虫



ハマボウフウとアカスジカメムシ



アカメガシワの新梢を食い切る
ホオジロアシナガゾウ



イタドリの新芽に群がる
ルリオトシブミ